

講 演 会 ・ 各 種 行 事 の お 知 ら せ

(5月20日以降分)

名 称	日時・場所	内 容	備 考
Forxiga National Broadcast Symposium in Yokkaichi	5月27日(火) 午後7時30分～ 都ホテル四日市3階 〔鈴鹿の間〕	(1)腎臓病の克服を目指して ～Journey from RENAAL to DAPA-CKD～ (講師) 川崎医科大学高齢者医療センター 病院長 柏原直樹氏 (2)当院におけるCKD診療の現状と今後の診療連携について (講師) 桑名市総合医療センター腎臓内科 部長 安富真史氏 ◆お問合せ先 urakawa@ono-pharma.com 小野薬品工業(株) 浦川 TEL 080-2472-0631	共催： 四日市医師会 小野薬品工業(株) アストラゼネカ(株) CC(単位数)： 12, 51(各0.5)
四日市医師会東洋医学研究会	5月28日(水) 午後7時30分～ 四日市医師会館2階 〔会議室〕 ※Web参加可	「認知症、抗酸菌症の諸症状および下痢の漢方治療など」 (講師) 山中胃腸科病院 診療部長 齋藤孝仁氏 ◆お問合せ先 takahashi_hiroshi2@mail.tsumura.co.jp (株)ツムラ 高橋 TEL 080-6745-9094	共催： 四日市医師会 (株)ツムラ CC(単位数)： 32(1.5)
地域病診療連携学術講演会	5月29日(木) 午後6時30分～ 鈴鹿中央総合病院 〔講義室〕 ※Web参加可	「本邦における子宮頸癌の現状～キャッチアップ接種を含めて～」 (講師) 三重大学大学院医学系研究科 産科婦人科学 教授 近藤英司氏 ◆お問合せ先 toshiaki.okubo@merck.com MSD(株) 大久保 TEL 080-5479-2345	共催： 鈴鹿市医師会 亀山医師会 鈴鹿中央総合病院 MSD(株)、他 CC(単位数)： 11(1)
四日市市補体講演会	5月30日(金) 午後7時～ プラトンホテル四日市 〔エメラルドホールA〕	特別講演「NMOSD治療を考える(仮)」 (講師) 国際医療福祉大学熱海病院副院長 神経難病・認知症センター長 教授 竹内英之氏 他 ◆お問合せ先 kota.yoshino@alexion.com アレクシオンファーマ(同) 吉野 TEL 090-5204-7135	共催： 四日市医師会 アレクシオンファーマ(同) CC(単位数)： 36, 49(各0.5)
Mie Bone&Joint Conference	5月30日(金) 午後7時～ ホテル津センターパレス	特別講演「高齢者の下肢骨折と関節症の治療戦略」 (講師) 川西市立総合医療センター整形外科 人工関節センター長 菅野伸彦氏 ◆お問合せ先 旭化成ファーマ(株) 三留 TEL 080-3432-0813	共催： 津地区医師会 旭化成ファーマ(株) CC(単位数)： 62(1)
第1回かかりつけ医のための勉強会	6月4日(水) 午後7時30分～ 鈴鹿市医師会館2階 〔会議室〕 ※Web参加可	特別講演「不整脈治療の最前線」 (講師) 名張市立病院 院長 藤井英太郎氏 ◆お問合せ先 naoyuki.suzuki@daiichisankyo.com 第一三共(株) 鈴木 TEL 090-6954-2005	共催： 鈴鹿市医師会 第一三共(株) CC(単位数)： 82(1)

名 称	日時・場所	内 容	備 考
第63回鈴鹿肝胆膵画像研究会	6月12日(木) 午後6時30分～ Web配信のみ	(1)EUS-FNA時代に求められる胆膵画像診断 (講師)伊勢赤十字病院消化器内科 副部長 村 林 桃 士 氏 (2)EUS胆嚢ドレナージの基本と工夫からトラブルシューティングまで (講師)岡波総合病院消化器内科 部長 今 井 元 氏 ◆お問合せ先 takahiro.toyama@fujifilm.com 富士フィルムメディカル(株) 遠山 TEL 052-221-7871	共催： 鈴鹿市医師会 富士フィルムメディカル(株) CC(単位数)： 12(0.5)、15(1)
Diabetes Forum in Suzuka	6月25日(水) 午後7時30分～ ホテルグリーンパーク鈴鹿〔鈴鹿の間〕 ※Web参加可	特別講演「心血管合併症予防につながる糖尿病治療ーインクレチン受容体作動薬への期待ー」 (講師)三重大学大学院医学系研究科 分子生理学 教授 坂 東 泰 子 氏 ◆お問合せ先 HRTC@novonordisk.com ノボ ノルディスク ファーマ(株) 立花 TEL 080-3358-9523	共催： 鈴鹿市医師会 ノボノルディスク ファーマ(株) MSD(株) CC(単位数)： 28(1) 73(1)

※CCとは日医生涯教育講座カリキュラムコードの略です。
※内容が変更になる場合がありますのでご了承下さい。

医療事故発生時の三重県医師会への 付託方法及びその処理手順について

- 1 所定用紙（依頼状と報告書）に記入する。
- 2 所属郡市医師会へ連絡し、報告書へ郡市医師会長の記名押印をしてもらう。
- 3 依頼者から下記担当理事へ電話をし、事例概要を簡単に説明し、三重県医師会へ依頼状・報告書を提出する旨伝える。
【連絡先】 片岡整形外科 片岡紀和院長
☎ 059-322-6066
- 4 提出書類を準備し、県医師会へ郵送する。
【提出書類】
・依頼状と報告書（原本）
・カルテ等関係書類（カルテ、証拠保全書類、訴状など）のコピー13部
※原則、両面コピーとする。
担当理事 9、顧問弁護士 1、損害保険ジャパン(株)（医賠償保険加入者のみ）1、日本医師会（付託する場合に使用）1、
本会控え 1
・CTやMRI等の画像のコピー（CD-Rなどへ）13部
- 5 本会より担当理事、顧問弁護士、損害保険ジャパン(株)（保険加入者のみ）へ依頼状・報告書の写しと関係書類を送付する。
- 6 依頼者より訪問または電話にて、顧問弁護士と連絡をとり、事故の処理について依頼する。
- 7 医療事故対策委員会小委員会を開催し、依頼者の出席のもとに付託事例を検討し、対応策を協議する。（原則として受付日より1ヶ月以内に開催する。）
- 8 状況により日本医師会へ付託する。（ただし、日本医師会医賠償保険は免責金額が100万円のため、賠償請求金額が100万円以下と予想される事例は日本医師会へ付託しない。）日本医師会へ付託する場合は、別途、所定用紙へ記入する。
※損害保険ジャパン(株)の医賠償保険は、上記免責金額の100万円又は賠償請求額100万円以下の事例を補うものであるため、加入されることをお勧めする。